

## 令和 8 年度当初予算知事審査における主要な議論

### (県民生活部)

#### ■ こども版 彩の国だより発信費 (P6)

知 事 こども新聞を読みたいという小学生からのニーズはあるのか。

担当部局 「さいたまけん★こどものこえ」のアンケートで、県政情報を伝える小学生向け新聞があったら読みたいかとの質問に対し、85.5%から読みたいと回答があった。

知 事 こどもたちからは、自分たちで広報などに関わり県の魅力を発信したいとの声を聴いているが、その点について、本事業との関連性はあるのか。

担当部局 生のこどもの意見を届けられるような仕組みを検討していくことも重要と認識している。

知 事 こどもたちの声を聴くという趣旨を踏まえると、こどもたちが意見を発信できるような仕組みを構築した方が、我々が一方通行で情報を発信するよりも、親しみを感じてもらえるのではないか。

担当部局 こどもたち自身も、発表の場があればそれも励みになると思うので、手法については研究させていただきたい。

#### ■ 県政情報プロモーション事業 (P108)

知 事 初年度となる来年度は、対象をしっかりと分析し、どのような広報媒体だと相性が良いのか、ノウハウを蓄積することが重要。その結果を庁内にも共有してほしい。

担当部局 庁内の広報監会議を利用して、制度の周知や効果の共有を行っていきたいと考えている。

# 令和 8年度予算見積調書

課室名：広報課  
 担当名：テレビ・ラジオ・広報紙担当  
 内線：2868 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P6	こども版 彩の国だより発信費			一般会計	総務費	県民費	広報広聴費	彩の国だより発信費	
事業期間	令和8年度～ 令和10年度	根拠法令	なし			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	16
						分野施策	0802 地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsターゲット	16-6
1 事業概要	<p>「こども版 彩の国だより」を小学校等を通じて県内の全小学生に配布し、県の施策を分かりやすく届ける。また、アンケート等を活用して、県の施策についてのこどもの意見を聴き、関係課にフィードバックしていく。</p> <p>こども版 彩の国だより発信費 15,049千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      ア こども版 彩の国だよりの発行 15,049千円</p> <p>(2) 事業計画                      ア こども版 彩の国だよりの発行・配布                      (ア) 体裁 タブロイド判                      4ページ(4色刷り(カラー))…2回                      (イ) 発行回数 年2回(夏号、冬号)                      (ウ) 発行部数 41万部/回                      イ 点字版の発行                      年2回発行 発行部数 55部/回</p> <p>(3) 事業効果                      県民が求める県の情報が、県の求めるタイミングで得られる                      【活動指標(アウトプット)】4ページ構成、年2回発行                      【成果指標(アウトカム)】「こども版 彩の国だより」による、県の取組みについてのこどもの認知率                      令和8年度末:50.0%                      「こども版 彩の国だより」による、県政に対し意見を言えるこどもの割合                      令和8年度末:30.0%                      ファミリー層の県政情報入手先 彩の国だより(WEB版)                      令和8年度末:3.40%</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況                      小学校等を通じて小学生へ配布</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 人件費(既存分) 9,500千円×1人=9,500千円 (2) 人件費(増員分) なし (3) 組織の新設・改廃 なし									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	15,049	諸収入	3,000					12,049	15,049
前年額	0							0	

# 令和 8年度予算見積調書

課室名：広報課  
 担当名：企画調整・ウェブ担当  
 内線：2865

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P108	県政情報プロモーション事業			一般会計	総務費	県民費	広報広聴費	広報活動費		
事業期間	令和8年度～ 令和10年度	根拠法令	なし			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsコード	16	
						分野施策	0802 地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsターゲット	16-6	
1 事業概要	<p>商業施設や交通機関など、多くの人が日常的に利用する場所のデジタルサイネージを利用し、県政情報の新たな発信拠点として活用する。これにより、県の取り組みを効果的に伝えていく。特に若年・ファミリー層などに届く広報活動を展開し、既存の媒体と組み合わせることで、すべての県民が県の取り組みを身近に感じられる未来を目指す。</p> <p>ア デジタルサイネージ広報発信費 10,240千円                      イ 電車内ビジョン発信費 9,042千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      ア デジタルサイネージを活用した広報、効果検証 10,240千円                      イ 電車内ビジョンでの広報、効果検証 9,042千円</p> <p>(2) 事業計画                      ア プロモーション動画作成                      (ア) 時間 15秒                      (イ) 本数 4本                      イ デジタルサイネージ広告                      (ア) 種別 駅前大型ビジョン、電車内ビジョン、コンビニサイネージ                      (イ) 期間 2週間(夏)                      ウ 効果検証                      インターネット調査(ウェブアンケート)                      エ 電車内ビジョン広告(6か月)                      オ 動画作成・編集費(12事業分)</p> <p>(3) 事業効果                      【活動指標(アウトプット)】 各広報媒体で15秒動画を2週間放映。                      【成果指標(アウトカム)】 デジタルサイネージで放映した県政情報の認知率</p>						
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	<p>(1) 人件費(既存分) 9,500千円×0.5人=4,750千円                      (2) 人件費(増員分) なし                      (3) 組織の新設・改廃 なし</p>									
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
決定額	19,282							19,282	19,282	
前年額	0							0		